



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2760

ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER 1998-'99

国際ロータリー第2760地区 ガバナー 内藤 明人

事務所 〒450-0002 名古屋市中村区名駅4-3-25 ホテルキャッスルプラザ1402号室

TEL052-581-2020 FAX052-581-1133



「大地に芽ばえる“双葉”は新しい生命のあかし。
この笑顔が、みんなのしあわせにつながりますようー」

1998.7.20 No2

会員増強・拡大月間

本誌は、環境にやさしい再生紙を使用しております。



ロータリアンとして 感動を会員増強で表そう

1998～'99年度 国際ロータリー第2760地区
ガバナー 内藤 明人

8月は会員増強と拡大の月間です。

ロータリークラブの会員は、親睦と奉仕を両輪とする活動に、情熱を燃やして努力しています。人間は日常の仕事と家庭生活だけでは満足できない何か、即ち社会に奉仕し、世の幸せのために尽くそうと思うと共に、同じ志をもつ人々と親睦を図ろうという心があるものです。この同好の士を増やすことはロータリー会員の責務ではないでしょうか。

会は、絶えず新しい血、即ち新しい人を注がないと沈滞するものです。水が流れないとよどむと一緒です。国際ロータリーが90年余りの永い歴史の中で生き生き発展して、28,284クラブ、約120万人の会員をもって活躍しているのもその力があるからだと思います。

私も犬飼ガバナーが提唱されたように、会員の3分の1の方が、新会員を推薦するようにして戴きたいと思います。同時に若い方や女性の新入会員も歓迎することは、クラブ活動の活性化に寄与すると思われます。

また、歴史のあるクラブ程老齢化が進んでいるように、都会の会員の中には転勤でやめられたら直に補充するよう気配りが必要ではないかと思っています。

会員増強については現役員のみでなく、全会員が常に心掛けるべきではないでしょうか。

次に新クラブの設立ですが、これには組織的な活動が必要だと思います。それには分区代理、会長、特別代表、ガバナーの新旧各員がチームワークよく、根気よく、新クラブ設立に情熱を傾けることが必要だと思います。都会の密度の濃い地域、また有能な人材が多くおられるのにロータリークラブが結成されていない地域等、広く且つ人口の多い愛知等には未だ未だ数多く考えられると思います。この年度に1、2クラブ誕生の芽が出ることを心から切望するものです。

ロータリー活動の基本の一つである、会員増強とクラブ拡大に、この運動月間を機に、会員全員心を新たにして取り組もうではありませんか。

会員増強月間によせて



地区会員増強委員会委員長 石川 八郎右衛門

1. RIの立場から／会員増強はRI最大の課題です。2万8千余のクラブと120万人余の会員を擁するRI。組織維持は財政基盤確立と同義語です。エンドレスの会員増強と新クラブ拡大は、至上命令なのです。

2. 地区の立場から／3月のアナハイムでRI会長宛てにガバナーノミニが約束手形を振り出し、それから地区協議会で方針を発表されます。概ね上意下達となります。

3. クラブの立場から／退会の理由に三つ考えられます。（1）個人的理由：病気・高齢その他（2）社会的理由：転勤不補充・長引く不況その他（3）ロータリー的原因理由：そのものに馴染めない・年齢ギャップその他

クラブあるいはロータリーそのものに起因する理由を探り当てましょう。（1）それによる退会を防ぐ。

（2）「減衰」を『原状回復』させる。（3）それ以上文字通り『増強』させる。

会員招致のヒントは若い人・女性・会長のリーダーシップに内蔵されています。

4. 会員の立場から／自己の尊厳と主体性にとって増強はどう関わるか考えましょう。

5. 分区代理の立場から／RIと会員との結節において、実際を受容し増強を支援する。

6. 地区委員の立場から／分区に特有の現状を情報化し、会長と分区代理を賛助する。

会員増強及び拡大月間によせて



地区拡大委員会委員長 森岡 秀夫

RIにおいては、8月を「会員増強及び拡大月間」と定められております。

今年度図らずも地区拡大委員長の責を負うことになりましたが、ロータリーが更なる発展を期するには、常に会員の増強に係って居ます。増強があつてこそ新しいクラブの設立が出来ます。

近年の傾向を見るに、歴史と伝統あるクラブには入会希望者が多く、新クラブ（特に地方）では仲々適格な人物が見当らず苦労しているようです。新クラブ設立には相当な期間が必要であり、熱意ある人と、クラブ全員の努力とその気運が必須の条件です。

幸い今年度委員会には、カウンセラーとして、石川和昌、松本宏、犬飼栄輝パストガバナーが、又浅野豊彦（名古屋東南）高須邦治（一色）山田静夫（名古屋守山）の熱意と有能な各氏がおられます。昨年は新クラブの誕生を見ませんでした。今年度は是非一カ所でも特色をもったクラブを出現させたいと願っております。是非各クラブにおかれましては、御尽力賜りますようお願いする次第です。

当面の目標を下記のように設定しました。

1. 設立30周年以上のクラブで、小クラブのないクラブ。
2. 市制施行の都市において単独のクラブのないところ。
3. 100名以上の会員を持つクラブ。

該当クラブにおかれましては、是非ご協力賜りますようお願い申し上げます。

RI年次大会に参加して

1998～'99年度 国際ロータリー第2760地区

ガバナー 内藤 明人

1998年の国際ロータリー大会は、インディアナ州インディアナポリスで6月13日(土)～17(水)まで開かれました。今年は開会日及び翌日と大雨と雷の荒れ模様の天気でしたが、流石アメリカにおけるロータリー大会だけあって、大会場はインディアナポリスのドームであり、分科会や友愛の広場は巨大なコンベンションセンターで行われ、荒天等も関係なかったことに感心しました。

更に同会場にはハイアット・ウェステン両ホテルに外国からの出席者の大半が泊まっているのですが、夫々が道路を横断する立派な渡り廊下で繋がれており、天候に関係なく参加することが出来ました。

更に廊下の繋がりが中心街のショッピングセンターに結ばれ、同時に巨大な駐車場とも連絡しており、近代的都市計画構造に成功した都市としてもインディアナポリス市の都市計画は驚きました。と共に我々の居住する都市の近代化へのロータリアンとして働きかけに大いに参考になったと思います。

1998年の国際ロータリーインディアナポリス国際大会の参加者は17,105名(登録者数)、国数は113ヶ国であり、会場は50,000人は入れるといわれるRCAドームで行われました。

開会式は6月14日(日)19:00から行われました。

先ず前奏 "Room For Everyone", "Ayiko" の曲がup with Peopleの特別出演で始まり、次に

●歓迎の辞、開会宣言、黙とう

大会委員長マイク・クツリス (米国)

●大会プログラムの採択

副会長ロバートS.スコット (カナダ)

●ロータリー加盟国の国旗入場式

ロイJ.A.ウィットビー (英) の司会で113ヶ国、各国の国旗を1時間程かけて旗手が一国ずつもって舞台上上がってくるのは壮観であり、これぞ国際ロータリー世界大会に参加している感を深くしました。

●米国国歌斉唱

H.ウィリアム・アイブス (米国)

●オーストラリア国歌斉唱

ヘザー・ビューカナン (オーストラリア)

●歓迎の辞

インディアナ州知事フランクオバノン

●グレンW.キンロスRI会長の紹介

副会長ロバートS.スコット (カナダ)

●RI会長の歓迎の辞

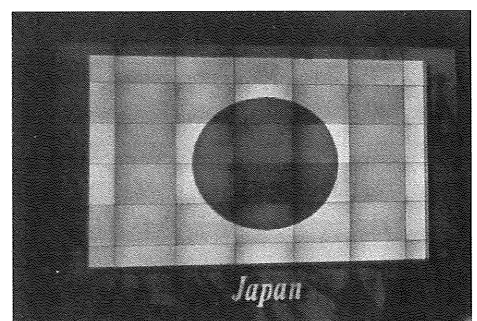
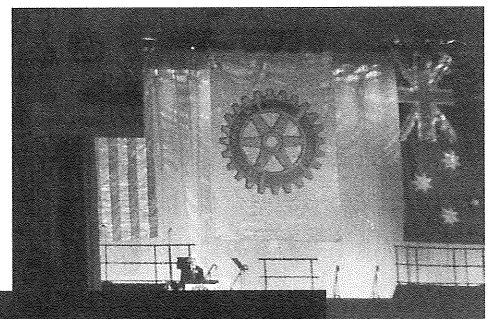
キンロス会長は「インディアナの方々の温かい心で、アメリカの心臓部であるインディアナポリスで開かれたことは記憶すべきことであり、本年度のテーマ“ロータリーの心をあなたの住むところ世界のすべての人々に”を示す無上の機会を与えて頂き感謝する。

その一つ、社会奉仕として、インディの町に今日の午後3,000本の花木をロータリアンと市民の方で植えられました。また、職業奉仕は献身する人々にスポットライトを与えるための「職業奉仕ツアー」に、国際奉仕のパートナーシップを通じて極貧にあえぐ人達に提供する低価格住宅のモデルの二つをコンベンションセンターに展示されました。

また、クラブ奉仕は四大奉仕部門の他の部門に門戸を開く部門であり、本年度は会員増強の目標を達成し、または突破した地区を表彰します。本大会で過される時間を活用し、奉仕についての理解を深め、親睦と友愛を楽しみ、ロータリーの理想と原則を強化して下さい。

皆様のご幸福とご成功をお祈りします。」

と述べられ、ここに本大会の出席した意義がすべて盛り込まれていると思います。



●RI元会長の紹介

●開会式の余興（ジョナサンとシャーロットペンドラゴン夫妻の魔術、動影、音楽ダンス、コメディで会場の人を魅了しました）

●閉会

2日目以降、夫々分科会に分かれ討議がおこなわれました。

日本からの参加者は15日(月)昼食会がキンロス現会長、レイシー会長ノミニーと共に行われました。

また、同日午後3時から日本語によるフォーラム「ロータリーの近況」を現RI理事竹内氏始め4氏によるパネルディスカッションで行われました。

その他見学会として有名なインディアナポリスレース場及び博物館を見学に参りました。

日程としては短時間でしたが、ガバナーノミニーとしては標準的なロータリーの会合及び友愛の広場のあり方等、沢山得るところがあった大会でした。

インディアナポリス国際大会印象記

地区国際奉仕委員会
委員長 木本 精之助

第18回国際大会は、6年ぶりにアメリカでの開催となった。開催地インディアナポリスはインディアナ州の首都。都心部にあるIndiana Convention Center(ICC)及び隣接するRCA Domeに於いて全ての大会プログラムが消化された。完備した施設の中に、よく準備されたプログラムがまとめられ、如何にもアメリカらしく運営された優れた大会であった。

●国際大会直前青少年交換役員会議

今回私が参加した主たる目的は、国際大会直前青少年交換会議(YEO)に出席することにあった。この会議は国際大会の公式会議の一部として世界各地より青少年交換役員が一堂に会し意見や情報を交換し、親睦を深める機会として開催されるもので、近年は青少年交換の数的な拡大と、その内容の多様化を背景に、この会議の果たす役割とその意義に強い関心と期待が寄せられているものである。

今回は、6月12～13日ICCにて開かれ、例年に倍する800名を越える参加が見られ日本からの参加も26名にのぼった。

会議は次期国際会長James L. Lacyジェームスレイシー氏の基調講演にはじまり、ロータリー青少年交換の直面する課題について、4回の全体会議(Plenary Session)の間に小グループによる討議の時間が組み合わされて、熱気を帯びた協議が続けられた。詳細にわたる報告は、公式記録に委ねることとして、今回特に印象に残った話題をとりあげると、その一つはLegal Liability法的責任Risk Management危機管理が取り上げられ専門の立場からの助言がパネルにおいて語られたこと。更には、障害を有する学生への積極的な対応が論じられたこと等があり、

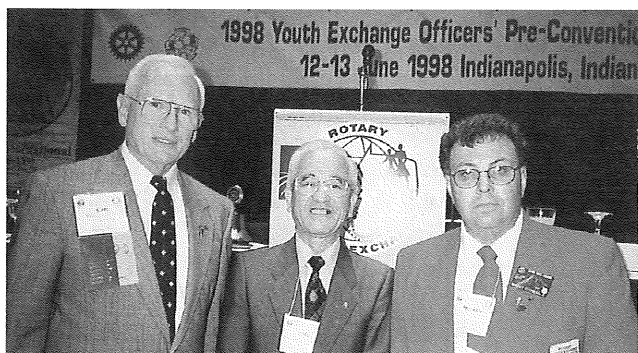
これらの領域での国際間の進展が強く感じられた。近年青少年交換の進展に伴い一般ロータリアンの青少年交換への理解と支持の増強を期待する声が処々に聞こえるようになったが、特に、年毎に新たに就任される地区ガバナーに寄せられる青少年交換への認識強化への期待が大きくDistrict Governor Involvement in the Youth Exchangeがグループ討議の話題の一つにあげられていた。

●国際大会 開会式

6月14日第89回国際大会が始まった。開会式は巨大なRCAドームにて開かれ大会登録者は113ヶ国17,105名と公表された。

この日午後には“Green Way Project”と称し地元ロータリアンに大会参加者も加わって、地域一帯にロータリアンによる「花いっぱい」運動が展開された。揃いのTシャツを着たボランティア1500～1700名が街に繰り出し、フラワーベッドやプランターに草花を盛りつける壮大な地域サービスプロジェクトであった。世界に広がるロータリアンの心意気を示し、大会に“花”を添えるものとなった。

開会式は、そのハイライトFlag Ceremonyにはじまり、開催国米国歌、Kinross国際会長の国オーストラリア国歌の熱唱がこれに続いた。インディアナ州知事は歓迎あいさつの中で、州の特色の一つとして、住民に他者に奉仕するスピリットの強い点を強調されたことが印象深いことであった。13名の元国際会長が壇上に紹介された他には形式張ったプログラムはなく、Up with Peopleの音楽演奏とPendragons夫妻の魔術が楽しく演じられドームの屋根を激しくたたいた大雨も上がり、大会の夜は静かに更けていった。



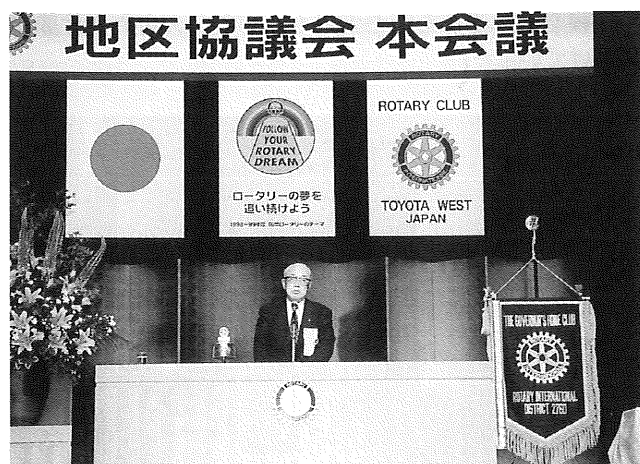
本会議

日時：平成10年5月23日(土)
場所：豊田市民文化会館
豊田産業文化センター

地区内76クラブの次期会長、幹事、各委員会委員長、新入会員に一般会員が加わり、1,700名の参加のもと定刻に始まり、先ず、内藤ガバナーノミニーから特別出席者の紹介、ホストクラブ中根実行副委員長から出席クラブの紹介の後、犬飼ガバナーによる点鐘、黙想に続いて、ホストクラブ稲熊豊田西RC会長の歓迎の挨拶。ガバナーから「協議会は地区行事の中でも最も重要な行事の一つであり、内藤ノミニーの方針を充分勉強し、自信と確信を以って元気に活動して欲しい」と挨拶。

内藤ガバナーノミニーによる「新しい年度の目標について」説明があり、「ジェームスL・レイシーRI次期会長のテーマは『ロータリーの夢を追いつけよう』を掲げられました。各クラブはその意味を生かした活動をして頂きたい」と述べた後『ガバナー方針』として、①ユーイズムを広めようー思いやりの心を社会の隅々に②新世代に大いなる光りを照らそうー子供レベルでロータリーの夢を③奉仕の実感を共有しようーひとりひとりが思いやりの心でーの三つのテーマと新設するガバナー賞の内容を紹介した。「ロータリーの奉仕活動を通じて、子供たちが元気で将来に夢をもてる社会づくりを目指していきたい。また、地域社会の関心事と子供たちに焦点を当てると共にロータリーの使命と自覚をもった活動をして頂けるよう、ガバナー賞を設けることにした。ロータリアンであって良かったと思う一年であって欲しい」とロータリアンの活躍への期待を述べられた。

午後から会場を豊田市民文化会館と豊田産業文化センターの二会場に分かれ、九分科会を開催、それぞれ熱のこもった討議が行なわれた。その後市民文化会館で本会議を再開、犬飼ガバナーの講評の中で「大変盛り上がった協議会になった。新しい役員の方々に頑張って頂き、新しい年度が素晴らしい年度となり皆さんのクラブがより一層活躍されることを期待しています」と述べられた。続いて、犬飼ガバナーから内藤ノミニーへガバナーバッジを、片山地区幹事から岩間次期地区幹事へ地区幹事バッジを、伴名古屋東南RC次期会長から高橋名古屋西RC次期会長へガバナーズクラブバナーの授受など引継ぎが行なわれた。内藤ノミニーは次回協議会のホストクラブを名古屋中RCと発表し、松本中RC次期会長から「来年5月8日、名古屋国際会議場で開催予定ですので皆さんのご協力をお願いします」と挨拶を述べ、盛会裡に閉幕した。参加者一同、新たな気持ちで、新年度の目標に向けて、全力投球を決意した。



分科会

第1分科会 [会長・幹事]



リーダー	ガバナー	犬飼 栄輝
アドバイザー	パストガバナー	奥谷 博俊
アドバイザー	ガバナーノミニ	内藤 明人
アドバイザー	次期ガバナーノミニ	野村 重彦
アシスタントリーダー	地区幹事	片山 主水
アシスタントリーダー	次期地区幹事	岩間 俊夫
アシスタントリーダー	次期地区会計長	天野 源治
アシスタントリーダー	次期地区会計監事	吉村 太郎
アシスタントリーダー	次期地区資金委員長	神野 紀郎

豊田市民文化会館展示室Aにクラブ会長・幹事約150名の参加者で岩間次期地区幹事の司会のもと進行された。

まず、犬飼ガバナーが、会長・幹事としての4つの注意点、①議論したら決定すること、決定したら実行

すること。②報告・連絡・相談をしっかりとすること。③引継（特に心の引継）の重要性。④会長・幹事の役割。について話をされた。次に、内藤ガバナーノミニが、①ニューリーダーシッププラン②思いやりのある心をもって、親睦と奉仕をロータリー活動の両輪として、『ロータリーの夢を追い続けよう』③新世代に大いなる光を照らそう④奉仕の実感を共有しよう。例えば環境保全運動等で⑤クラブ拡大と会員増強を計ろう⑥ガバナー賞にチャレンジしよう。のガバナー方針について話された。そして、奥谷パストガバナーより、ロータリーは年々進歩してほしいとのお話をいただいた。その後、片山地区幹事が、地区の諸情報についてお話しされ、神野次期地区資金委員長、天野次期会計長により地区資金予算の説明後、犬飼ガバナーより地区資金予算について承認が行われた。さらに、岩間次期地区幹事が次年度地区運営について話された後、質疑応答の時間がもたれ活発なやりとりが行われた。最後に犬飼ガバナーより講評をいただき閉会となった。

第2分科会 [クラブ奉仕・ 会員増強]



リーダー	次期地区クラブ奉仕委員会委員長	石川 孝司
アドバイザー	次期地区クラブ奉仕委員会カウンセラー パストガバナー	宮地 信尚
アドバイザー	次期地区クラブ奉仕委員会カウンセラー	吉村 卯一郎
アシスタントリーダー	次期東名古屋分地区代理 (ガバナー補佐)	上村 晋也
アシスタントリーダー	次期地区拡大委員会委員長	森岡 秀夫
アシスタントリーダー	次期地区会員増強委員会委員長	石川 八郎右衛門
アシスタントリーダー	次期地区広報委員会委員長	長尾喜久男
アシスタントリーダー	次期地区ロータリーの友委員会委員長	種村 桂介
アシスタントリーダー	次期地区クラブ奉仕委員会副委員長	伴野 富三

石川孝司リーダー クラブ奉仕全体にたいする発言があり、特に新入会員教育について出席義務を最初から最低の条件であるということは教えこまないでほしい。

石川八郎右衛門アシスタントリーダー 会員増強は、心（質的）栄養と、からだ（量的）の栄養バランスが

とれていなければならない。

宮地アドバイザー ロータリーはアットホームな雰囲気をもってほしい。

長尾喜久男アシスタントリーダー 近年ロータリーにたいするマスコミの認識が深まり、ニュース性のある情報を提供してほしい。

種村桂介アシスタントリーダー ロータリーの友は会員にとって読む義務と同時に読む権利もある。

伴野富三アシスタントリーダー ロータリーの親睦活動が社会奉仕に発展した原点が例会であったことを忘れないでほしい。

上村晋也アシスタントリーダー 新入会員教育にたいする考え、即ち1. ロータリーをよく知ってほしい。（ロータリーは社会奉仕団体ではない）2. ロータリー精神の基本である友情を大切にしてほしい。3. ロータリー活動に積極参加してほしい。4. 他の人に奉仕できる人を育ててほしい。

各立場にたった有意義な発言のある分科会でした。

第3分科会 [職業奉仕]



リーダー	次期地区職業奉仕委員会委員長	杉原彦三郎
アドバイザー	次期地区職業奉仕委員会カウンセラー パストガバナー	松本 宏
アシスタントリーダー	次期東尾張分区代理 (ガバナー補佐)	飯田 幸雄
アシスタントリーダー	次期地区職業奉仕委員会副委員長	荒木 巖

リーダーの杉原彦三郎地区委員長の司会のもと進行された。

最初にカウンセラー（パストガバナー）松本宏さん

の基調講演として、「職業奉仕の質を高めるには」と題し、まず・職業奉仕の基本原則を正しく理解する必要がある。

・ロータリーは人類文化史が20世紀に考え出した職業人の最も優れた倫理運動であると言われている。など、熱っぽく話されました。次に杉原リーダーより、職業奉仕の総論と題し①職業奉仕における再定義②職業奉仕に関するRIの新しい方針③職業奉仕とはと分かりやすく話され、荒木巖アシスタントリーダーが職業奉仕のA・B・C、飯田分区代理(ガバナー補佐)は4つのテストを深く掘り下げて説明され、質疑応答のあと、各クラブの委員会活動計画のアンケートを7月末日迄に提出し、8月25日(火)に地区委員会を開催することを報告されました。

最後に松本カウンセラーの講評として、21世紀に向けての正しいロータリー活動を推進して行く上でも、過去の職業奉仕の歴史を検証しつつ未来への道筋を構築してゆくことが必要であると結ばれました。

第4分科会 [社会奉仕・ 環境保全・RCC]



リーダー	次期地区社会奉仕委員会委員長	花井 文雄
アドバイザー	次期地区社会奉仕委員会カウンセラー パストガバナー	石川 和昌
アドバイザー	次期地区RCC(小)委員会カウンセラー	市田 弘治
アシスタントリーダー	次期中三河分区代理 (ガバナー補佐)	村野 力男
アシスタントリーダー	次期地区社会奉仕委員会副委員長	野崎 洋二
アシスタントリーダー	次期地区環境保全(小)委員会委員長	杉浦 恵造
アシスタントリーダー	次期地区RCC(小)委員会委員長	川井 健司

豊田産業文化センター大会議室に約160名の参加者で野崎さんの司会のもと進行された。最初に花井委員長の基調講演として奉仕とは①人や社会の役に立つ。②できない事をしてあげる。③楽をさせてあげる、手助けする。といった事で、ロータリーの取上げる「奉仕」は、①ハンドサービス②マネーサービス③提唱、提言する④啓蒙する。などのやり方がある。と結ばれた。次に村野さんより、分区代理(ガバナー補佐)として挨拶をされ、その後杉浦さんより環境保全でロータリーの果す役割を話され、内藤ノミニーが来場されご挨拶をされ10分間休憩後、川井さんよりRCCの現況と将来について話をされた。そして質疑応答が活発に行われ、それに対してアドバイザーの石川パストガバナーはじめパネラーよりの確な解答が成された。最後に助言・講評を石川、市田両アドバイザーよりいただき結びとなった。

第5分科会 【国際奉仕】



リーダー	次期地区国際奉仕委員会委員長	木本 精之助
アドバイザー	次期地区国際奉仕委員会カウンセラー バスターガバナー	盛田 和昭
アシスタントリーダー	次期東三河分区分代理 (ガバナー補佐)	来本 吉郎
アシスタントリーダー	次期地区国際奉仕委員会副委員長	杉浦 三郎
アシスタントリーダー	次期地区青少年交換(小)委員会委員長	神田 憲
アシスタントリーダー	次期地区世界社会奉仕(小)委員会委員長	岡田 邦弘

人の心の中に平和の砦を——ユネスコ憲章の言葉です。次代を託す人々が心豊かで希望の持てる、そんな世界を築いていく、そこに究極の目的があります。30数年前の渡米の折、過去に経験のない思いやりを受けた原体験が、この20年近いロータリーの青少年交換プログラムへの参加となり、その恩返しの気持ちが年々大きくなっています。自分がして欲しいことを相手に、この思いやりの心が、内藤ガバナーのいう、ユーイズム、奉仕の実感の共有につながっていきます。世界社会奉仕〈WCS〉と青少年交換P、この二つが、地区の国際奉仕委員会の主な役目です(木本)。WCSの基本は、個々のRCと相手のRCとの結びつき、地区は、同額補助金制度の活用等、そのお手伝いです(岡田)。青少年交換Pへの参加実績は49RC、地区は新たなトライアルにもお手伝いをします(神田)。Rの原則は、あくまでクラブ単位、現役主義。思った通りに、おやり下されば結構です(盛田)。

第6分科会 【青少年活動・IAC ・RAC・ライラ】



リーダー	次期地区青少年活動委員会委員長	坂本 康信
アドバイザー	次期地区ローターアクト(小)委員会カウンセラー バスターガバナー	高沢 隆
アシスタントリーダー	次期西三河分区分代理 (ガバナー補佐)	池田 憲司
アシスタントリーダー	次期青少年活動委員会副委員長	石田 喜運
アシスタントリーダー	次期地区インターアクト(小)委員会委員長	荻本 鐵夫
アシスタントリーダー	次期地区ローターアクト(小)委員会委員長	石川 敬
アシスタントリーダー	次期地区ライラ(小)委員会委員長	林 正彦

石田副委員長の司会で、最初にアドバイザーの高沢バスターガバナーより講話を頂いた。昔は、社会奉仕の中に青少年活動があったが、今は、ロータリーにとって、全体の70%位が青少年活動といえる。と、その重要性を強調された。

次に、坂本委員長より次年度のテーマとして“新世代に夢を”。

『青少年は、あくなきチャレンジ、老いると変化を好まなくなる。前例は、今私達が作りましょう』と、挨拶があった。

荻本IA小委員長、石川RA小委員長、林ライラ小委員長からそれぞれの小委員会の方針について話をされた。内藤ノミニーが来場され、ご挨拶をされた後、池田アシスタントリーダーより来年度の活動に対して各クラブの協力のお願いがされた。

質疑応答の後、高沢アドバイザーよりお誉めの言葉があり、最後に委員長の挨拶で閉会となった。

第7分科会 [ロータリー 財団]



リーダー	次期地区ロータリー財団委員会委員長	矢島 茂
アドバイザー	次期地区ロータリー財団委員会カウンセラー バスターガバナー	蜂谷 弘道
アシスタントリーダー	次期南尾張分区代理 (ガバナー補佐)	加藤 知成
アシスタントリーダー	次期地区財団学友会(小)委員会委員長	三浦多久二
アシスタントリーダー	次期地区ポリオプラス(小)委員会委員長	酒井 孝

リーダーの矢島さんよりアドバイザー、アシスタントリーダーの紹介からはじまり、まず搬出金(寄付)について矢島リーダーから詳しく説明された。

1917年、ロータリー財団が創設され、1947年世界理解と平和友好を増進するための奨学金プログラムが創設された。寄付は年次寄付、指定寄付、恒久基金の3種類あり各々説明。

特に1998-’99年度当地区の寄付目標は1. 年次寄付会員1人当たり110USドル2. 恒久基金は会員50名あたり1名のベネファクター3. 大口寄付(教育的プログラムの寄付)は30万円以上免税になるので大いに協力して欲しいと力説された。

次いで酒井アシスタントリーダーよりポリオについて歴史的な経緯を話され、今日、ロータリーのポリオ撲滅運動は民間関係としてリーダー的役割を果たしていると説明。今後の協力を願いたいと結ばれた。

又、奨学生の推せんについて三浦アシスタントリーダーより現況が説明され、今年度は30名の応募の中から10名が選考されることになっており、奨学生に対しては出発するまでスポンサークラブのフォローをお願いしたいと話された。

最後に蜂谷バスターガバナーより奨学生の派遣はロータリーとして重要な活動なので大いに頑張ってほしいなどと講評をいただき、分科会を終了しました。

第8分科会 [米山記念奨学会]



リーダー	次期地区米山奨学委員会委員長	加藤 凱也
アドバイザー	次期地区米山奨学委員会カウンセラー バスターガバナー	田中 徹
アシスタントリーダー	次期西尾張分区代理 (ガバナー補佐)	田中 清隆
アシスタントリーダー	次期地区米山学友会(小)委員会委員長	堀田 能正
アシスタントリーダー	次期地区米山奨学委員会委員	来川 鋼治

日本の大学・大学院に留学している外国人学生に、奨学金を支給し国際理解と親善を目的としている此の会の最新情報の紹介をしつつ各クラブ米山奨学委員会の任務についての説明が主体であった。(加藤)

- ①奨学会の歴史と、その目的、意義を理解すること。(田中徹)
- ②寄付金の勧奨(普通寄付金・特別寄付金・米山功労クラブ)(堀田)
- ③米山月間の活動には、会員の奉仕意欲の高揚につとめる。(堀田)
- ④世話クラブ及びカウンセラー制度の趣旨徹底。(来川)

⑤学友(元米山奨学生)との交流(加藤)

その後、具体的・細部についての疑問点、指導のあり方等について質疑・応答のやりとりをへて本日の分科会を終了した。

第9分科会 [新会員・ 一般会員]



リーダー	次期地区研修リーダー バスターガバナー	神戸 政治
アドバイザー	次期地区国際奉仕委員会カウンセラー	林 光雄
アシスタントリーダー	次期西名古屋分区分代理 (ガバナー補佐)	春日 良平
アシスタントリーダー	次期地区社会奉仕委員会副委員長	内藤 八郎
アシスタントリーダー	次期地区青少年活動委員会副委員長	鶴田 欣也
アシスタントリーダー	次期地区職業奉仕委員会委員	大西 松夫

本会議会場大ホールに600名の新入会員、一般会員が参加して、神戸リーダーの司会で進められた。先ず、

神戸氏が「ロータリーの目的」について語られ、綱領にある通りであると結論づけされた。「奉仕活動について」は、職業奉仕は大西氏より一業種一名が原則で、異業種交流の場であると。社会奉仕では内藤氏から「超私の奉仕」の哲学であり、ロータリアン自身が奉仕することであると。国際奉仕は林氏が奉仕にも限度があるが、青少年交換による一年の留学で自分の意見を発言出来る程に成長して帰ってくるのを見ると感動を覚えると。青少年活動は鶴田氏が生活環境の変化が青少年に悪い影響を与えている、国際社会に通用する新世代の育成教育が必要であると語られた。ここで、内藤ノミニの挨拶があり休憩のあと、新入会員のために、春日氏よりポールハリスの時代背景と活動の初心を、林氏は早く知り合いを増やして下さいと述べられた。活発な質疑応答があり、パネラーからの確かな解答がなされた。

★★

>>日本のロータリーを海外に知らせる最もよい贈り物<<

『ロータリーの友』英語版

“THE ROTARY-NO-TOMO”

新年度分 ご予約受付中!!

本年度はNo. 49を11月1日に、No. 50を来年4月1日に刊行の予定です

●掲載記事内容

『ロータリーの友』より海外向けにふさわしい記事を編集、転載。また日本の地区別ロータリー地図と全クラブの例会日一覧表、その他、日本の文化、社会、経済および一般事情紹介の記事を掲載。

●活用方法

- 特に、グリーティングカード付きのNo. 49は、クリスマスカード代わりに、海外のロータリアン、友人、知人に贈呈。
- 海外の姉妹クラブ、友好クラブに定期的に送付。
- シンガポール国際大会参加、その他、海外旅行の際お土産として携行。
- 海外でメイクアップのとき贈呈、また例会で海外

からのビジターに贈呈。

- ロータリー財団国際親善奨学生・青少年交換学生・GSEメンバー受入時に贈呈。派遣時にはホスト地区やホストクラブにも贈呈。
- 地域や大学・高校の図書館に寄贈。
- RI発行の公式名簿 (Official Directory) を利用して、外国のRC会長に贈呈。(例: RI加盟承認年が同じクラブに贈る)

●雑誌代金

1口分 1,000円 (消費税別・国内送料込)

No. 49とNo. 50を各1冊、年間2冊で1口となります。

●代行郵送

お送り先のご住所をお知らせください。友事務所から直接、先方へ発送いたします。なお、海外送料は実費で請求させていただきます。

ビジターフィー変更のお知らせ

7月より下記ビジターフィーを変更致しますので
よろしくお願い申し上げます。

名古屋昭和RC(旧)4,000円→(新)4,200円

名古屋名駅RC(旧)3,800円→(新)3,900円

各地区関係事務所のご案内

ガバナー事務所

〒450-0002 名古屋市中村区名駅4-3-25
ホテルキャッスルプラザ14F1402号室
TEL 052-581-2020 FAX 052-581-1133

地区事務所

〒450-0002 名古屋市中村区名駅3-12-5
竹生ビル別館2階
TEL 052-541-2760 FAX 052-541-0500

ロータリー研究会事務所

〒460-0008 名古屋市中区栄1-7-34
盛田株式会社内
TEL 052-223-1746 FAX 052-223-1747

地区大会実行委員会事務所

〒450-0002 名古屋市中村区名駅1-2-4
名鉄グランドホテル13F312号室
TEL 052-533-8787 FAX 052-533-8702

文庫通信 129 号

新年度にあたり改めてご挨拶申し上げます。

本ロータリー文庫には常々一方ならぬご協力、ご愛顧を賜り衷心から感謝致しております。今更申し上げるまでもなく「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に設立され、28年の歴史を誇る全日本ロータリアンの資料室です。

ここにはロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万8千余点が収集・分類・整備され、皆様のご利用に備えております。

ロータリーの研究や諸活動のために、ぜひご活用くださるようお待ちしております。

☆利用方法☆

文庫資料は自由に閲覧できますが、電話や書信によるお問合せも承ります。お問合せは間接では要領を得ない場合がありますので、なるべくご本人から直接お願い致します。

(文庫資料をご希望の場合は)

- ・発行先に在庫のある資料については、発行先をご紹介します。
- ・絶版のものは実費(1枚20円+送料)でコピーサービスを致します。
- ・重複資料はご希望により無料進呈致します。

(貸出し)

- ・一般資料(印刷物)の貸出しは出来ませんが、視聴覚資料(ビデオ・スライド・フィルム)は予約制(申込用紙有)で貸出し致します。

(登録資料の紹介)

- ・「資料目録」をクラブ事務所に備付用としてお送りしてありますので、ご利用願います。「目録」をご希望の場合はお申込みください。
- ・「ガバナー月信」に「文庫通信」欄を設けさせて頂き、皆様のご参考になるような資料の紹介を致しております。

(ご寄贈)

- ・個人の著作、クラブ発行のもの、地区発行のもの等々、いずれも内外を問わずロータリーに関する資料をご寄贈願います。文庫に保存して皆様のお役に立てさせて頂きます。

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館7階 TEL(03)3433-6456・FAX(03)3459-7506

開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日

ロータリー文庫